

農政の動き 2014年11月14日～11月21日

◇10月13、14日の暴風雨 局地激甚災害に指定

政府は閣議で10月13、14日の暴風雨などの災害を局地激甚災害に指定した。兵庫県洲本市と淡路市で、農地・農業共同利用施設などの復旧事業への国の補助率かさ上げなどを措置する。(2014年11月14日)

◇日米首脳 TPP早期妥結へ一層努力で一致

安倍晋三首相は、オーストラリア・ブリスベンでオバマ米大統領と会談し、環太平洋連携協定(TPP)交渉の早期妥結に向けて一層努力していくことで一致した。(16日)

◇豪中FTAが妥結 豪首相「画期的な合意」

オーストラリアのアボット首相は、中国の習近平国家主席と首都キャンベラで会談し、2005年から行ってきた中国との自由貿易協定(FTA)交渉が妥結したと発表した。アボット氏は会談後、「画期的な合意」と述べた。(ブリスベン17日共同)

◇14年産小麦の収穫量 5%増の84万9100トン

農林水産省は2014年産小麦の収穫量は、前年産比5%増の84万9100トンと発表した。北海道は3%増の54万9700トンで、作付面積が1%増え、好天で10アール当たり収量(以下、収量)は2%上回った。都府県の収穫量は7%増の29万9400トン。作付面積が1%増え、好天で収量は6%上回った。二条大麦の収穫量は7%減の10万7900トンで、面積は前年産並みだが、関東での収穫期の降雨などで収量が8%下回った。六条大麦の収穫量は9%減の4万6800トンで、面積は2%増えたが、関東での収穫期の降雨などで収量が11%下回った。はだか麦は、収穫量は1%増の1万4800トン。作付面積は5%増え、収量は4%下回った。(18日)

◇農林中金が利子補給 米価下落で農家支援

農林中央金庫は、2014年産米価下落に伴う米農家の資金繰り支援策として、地域農協によるつなぎ融資などに利子補給(年0.5%以内)すると発表した。期間は9月から来年3月まで。実施済みの分はさかのぼって適用する。貸付額は最大3千億円、利子補給総額は15億円を見込む。(18日)

◇農水省が経済対策案 米価下落対策など柱に

農林水産省は、自民党農林関係合同会議で、2014年度補正予算案に盛り込む経済対策事項案を示した。15年度予算概算要求事項の前倒しを基本に、〈1〉米価下落への対策〈2〉燃油価格高騰等への対策〈3〉農林水産業の成長産業化と農山漁村の活性化〈4〉災害復旧など防災・減災対策――を柱

とした。米価対策には、飼料用米の生産・利用拡大のための機械・施設整備の導入支援や、直播栽培など米の生産コスト低減のための取り組み支援などを盛り込んだ。(19日)

◇14年産米の1等比率は82.0%(10月末現在)

農林水産省は、2014年産の水稲うるち玄米の1等比率は10月31日現在で82.0%と発表した。前月末に比べ2.8ポイント高く、前年同期比では1.8ポイント高い。2等以下への格付け理由は、心白と腹白が28.7%、整粒不足20.5%、充実度18.9%、着色粒(カメムシ類)が18.5%など。(20日)

◇衆院解散 総選挙は12月2日公示、14日投開票

衆院は、憲法7条に基づいて解散した。政府は臨時閣議で衆院選挙の日程を12月2日公示、14日投開票と決めた。(21日)